

10 シルバー事業の
月 普及啓発促進月間

地域社会に密着した活動でシルバー事業の啓発を行う！

10月は「シルバー事業普及啓発促進月間」です。全国のセンターでは各地域に応じた啓発活動を展開しています。当センターも「シルバーの日」恒例のボランティア清掃活動や11月に行われた市関係団体のイベント「農業祭」・「きものday結城」に参加してシルバー農園で収穫したキウイの販売を行いながら、シルバー事業のPRを実施致しました。



●「祭りゆうき2021」は今年も規模縮小で開催

コロナ感染は大幅に減少している中ですが、10月30・31日開催の「祭りゆうき2021」は規模縮小して昨年と同様に踊りに特化して、青空市や多くのイベントは中止しての開催となりました。

当センターもPR活動が出来る最大のイベントで、シルバー農園のキウイフルーツ等の出店販売やチラシ配布など予定していましたが、感染防止等から全面的に自粛の協力を致しました。



ボランティア清掃活動

ケーブルTVでも放映

●清掃には47人が参加「心地よい汗は気持ちを爽やかに！」

「シルバーの日」はボランティア清掃作業が恒例となっています。今年は10月16日(土)。当日朝は雨模様、中止か、決行かの判断の迷う中、清掃作業前から雨がやんで定刻の9時、アクロス前には47名が集合、理事長の挨拶、事務局の注意事項などを受けて、2班に分かれ清掃作業が始まりました。毎年の決まったコースでもあり、清掃作業と花壇の草むしり等手慣れた作業で進み、予定時間前に作業が終了を致しました。心地よい汗は気持ちを爽やかにしてくれました。今年はケーブルテレビの撮影・取材もあり、若干緊張した参加者もいたようです。TVの放映は、10月20日・21日に行われました。(栗田記)

清掃後の様子
みなさん、お疲れ様でした～

●臨時理事会で「金内新副理事長」を選任



金内新副理事長

6月19日の定時総会の理事会で互選された岩田満副理事長は、健康が思わしくなく、治療に専念する為センターを退会致しました。その後副理事長が空席のままとなっていました。10月22日開催した臨時理事会で「金内春夫副理事長(総務企画副委員長)」を後任として選任を致しました。新副理事長は挨拶で「微力であるがセンター事業発展の為頑張っていく」と決意を述べました。尚、今回やむを得ず退会した岩田前副理事長には1日も早く健康を回復する様ご祈念申し上げます。

●新職員就任のあいさつ



田中 博

9月1日よりシルバー人材センター職員としてお世話になっております「田中 博」です。2ヶ月余が過ぎてもまだまだ分からないことが多く、皆様よりご指導を頂く事が多々あります。1日も早くスムーズに業務をこなし、お客様・会員のみなさまに喜んで頂けるよう頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

●事業運営実績の数値を把握して実状を認識しよう

事業運営の実績推移表(予算及び実績)

(単位:千円)

項目	令和3年度予算	4～9月執行額	執行率	令和2年度実績	令和元年度実績
事業収入合計	136,045	71,035	52.2	130,858	138,254
事業支出合計	137,396	71,235	51.8	127,886	142,579
当期収支損益	▲1,351	▲200	14.8	2,972	▲4,325
正味財産期末残高	42,284	—	—	42,852	39,880

事業運営項目別実績表(会員数以外は請負事業のみ)

項目	令和3年4月～9月	令和2年度	令和元年度
会員数(人)	317(女性 130)	332(女性 130)	356(女性 129)
就業率(%)	82.3	87.3	93.0
就業延べ人員(人)	12,466	23,096	24,974
受注件数(件)	1,093	1,616	1,601
契約金額(千円)	62,959	101,791	117,924
配分金額(千円)	53,003	94,745	103,360
公共事業(千円)	12,021	21,604	24,176
民間、一般、独自(千円)	50,938	89,187	93,748

派遣事業運営実績表

項目	令和3年4月～9月	令和2年度	令和元年度
派遣契約金額(千円)	19,296	45,209	46,529
受注件数(件)	20	35	35
就業延べ人員(人)	3,391	8,570	8,734

●理事会・委員会等の開催報告(7月～10月)

理 事 会	9/17 第3回理事会
	10/22 臨時理事会
	8/20 設立20周年記念事業実行委員会
安全衛生委員会	7/1 安全朝の集い
	8/6 第3回委員会
	安全パトロール5回実施
総務企画委員会	9/28 第4回委員会
	10/19 第5回委員会
事業運営委員会	7/21 第3回委員会
	10/21 第4回委員会



第3回理事会(9/17)の様子

●事務局職員の職務分掌(改)

R3.10.8現在

氏 名	担 当 職 務 内 容	割当委員会等
川邊 事務局長	統括事務管理	総会、理事会等
奥山 事務局長次長	補助金関係、公共関係(草刈り・除草剤散布)	総務企画委員会等
長 瀬 きつみ	経理業務(給与・保険・公益法人等)	会 員 親 睦 会
土 屋 明 美	派遣業務、民間請負業務、総務関係等	事業運営委員会
江 連 浩	公共の派遣、請負業務、除草剤(給食センター・公民館・用務員・広報・駐輪場・清掃)	安全衛生委員会
山 口 敬 子	請負業務(剪定) 独自事業等	安全衛生委員会
田 中 博	請負業務(草取り・草刈・屋内清掃) 筆耕、表具、表装、家事援助、ワンコインサービス等	総務企画委員会

●樹から活力をもらう

私の健康法



杉山 久雄さん

10年前の健康診断では惨憺たる結果で、要精密検査の紹介状を2通頂き、その時「このままでは死んじゃうな」と思いました。そこで一念発起し、とりあえずメタボ克服を掲げ、1日1万歩を目標に公園などでウォーキングを始め7～8kg痩せることに成功しました。その時初めて樹木というものに気を留めるようになり、年月を重ねる事により益々愛着を持つようになりました。

昨年シルバーの会員になり毎日剪定する事で、より身近に樹木に触れることができ、まだまだ腕前は未熟ですが「樹木と会話しながら」、充実した日々をすごしています。これがウォーキングに代わる『私の健康法』です。

「令和4年新春交流会」1月22日(土)開催予定

コロナ感染は大幅に減少して緊急事態宣言も解除されて、ようやく平常な生活を取り戻しつつあります。令和3年1月の新春交流会は、感染拡大防止で中止となりました。令和4年の新春交流会は、現在のところ開催を予定しています。今回は「会費は無料」と役員会で決定しました。2年ぶりに皆さんと共に心ひとつに大いに楽しみたいと思っています。詳細は、同封の案内とハガキを参照してください。(結城シルバー・会員親睦会)



いつまでも働く喜び無事故から (全国統一スローガン)



私の安全就業

◆ 無災害とコロナ感染防止で年末年始を笑顔で迎えよう! 安全衛生委員会

コロナ感染は、茨城県でも大幅な減少が続く緊急事態宣言も解除されて、日常を取り戻しつつあります。一部では第6波を警戒して、感染防止の気持ちを緩めないよう注意を呼び掛けています。会員の皆さんも油断をせず十分注意して就業をして下さい。また事故防止を図る為、気を引き締めて「安全ルール・安全確認・安全行動」の原則を守りこれからの期間、無災害を続けて年末年始を笑顔で迎えてほしいと思っています。会員の皆さん宜しくお願い致します。

私の健康法

● 健康も仕事も1日1日を大事にしよう!



小張 ヤエ子さん

健康であれば仕事は1日中楽しく出来ます。コロナ感染防止もマスクの着用・手洗い消毒・体温測定など毎日やるようにしています。就業でお客様の所に行くには厳守です。元気で仕事が出来れば1日は楽しいものです。笑顔で朝の挨拶「おはよう」お礼の言葉「ありがとう」等は、お互いに交わすだけで元気の源になります。健康も仕事も自分で1日1日気をつけることが大事です。

● 設立20周年記念事業実行委員会が発足

平成24年6月設立10周年を節目として、以来センター事業は困難な状況乗り越えて着実に発展をして、来年6月には設立20周年という記念すべき新たな節目を迎える事になりました。このめでたき日に皆さんと共に喜びを分かち合いたい、この記念事業を実施する為に8月20日「設立20周年記念事業実行委員会」が発足致しました。

江連理事長が実行委員長に就き、委員会は3部会などに分かれて、事業の具体的内容を審議することになりました。準備委員会のメンバーは下記の通りです。

◎部会長 (敬称略)

実行委員長	江連太郎	副委員長	金内 春夫	事業総括	川邊正彦	予算執行	長瀬きつみ
式典部会委員	◎金内春夫	古山八重子	桑田昭	関根清二	永藤松男		
記念誌部会委員	◎吉田俊彦	日高美知子	片山ミヨ子	栗田正子	大橋 保治		
祝賀部会委員	◎栗原幸雄	大嶋洋	堤優子	武井庸子	高畑和夫	永藤茂男	松井利有
事務局担当	〈記念誌〉奥山義浩	田中博	〈式典〉江連浩	〈祝賀会〉土屋明美	山口敬子		

● 地域班の活動に今一度理解を深めよう!

センター事業のなかに色々な組織があり、その中の一つに地域班があります。地域ごとに18班に分かれて組織化され、地域班長を中心に地域班会員とセンター事務局のパイプ役として会報や諸情報等の配布、また班内の親睦交流も行っています。しかし、コロナ感染防止から活動は自粛され現在に至っています。この機会に地域班の目的、主な活動等について今一度理解を深めてみましょう。

地域班の目的	地域班の主な具体的活動
1 センター事業の普及啓発の拠点	● 班会議 … 班運営の円滑化が要となる
2 就業開拓に関する情報交換の場	● 情報の共有 … 会議以外の地域班員の情報共有
3 会員相互の研鑽の場に活用	● 親睦活動 … 地域に住む班員の人間関係を深める
4 センターと会員の意見交換の場	● 事業活動 … 会報、総会、交流会等の案内配布
5 会員相互の親睦交流の場	● 未就業会員への情報、ボランティア活動等

※地域班の活動は、センター活動の第一線であり班員同士が共同して行う役と地域班の一員としての個人として行う役割があり協力性が重要となります。

● 11月にキウイフルーツを収穫、農業祭などで好評販売!

シルバー農園は玉ねぎ、ジャガイモは終わり、10月に落花生を収穫、数量は限られている為、乾燥、選別、袋詰め過程で注文が入り、好評のうちに売り切れとなりました。

11月8日・15日とキウイ農園で収穫を行いました。今年のキウイは多くは粒ぞろいで、美味しそうです。選別、パック詰めが行われて、市関係の「農業祭」「きものday結城」などに出店をし、全量を販売致しました。



シルバー農園だより

● 新会員です。どうぞ宜しく

(令和3年6月1日～10月31日)敬称略

永藤 義章 (七五三場)	江見 慎介 (小田林)	生井 孝易 (田間)
木崎 新一 (中)	増 渕 文子 (結城)	嶋田 清 (田間)
渡辺 房子 (小田林)	池田 文子 (小田林)	小谷野 まち子 (中)
岩崎 好恵 (大木)	田中 文子 (結城)	岡野 清 (小田林)
上野 たき子 (結城)		

合計:317人(男:187人 女:130人)平均年齢73歳

作業用具の始業前点検と終了後の手入れ



遠城 貢さん

私の主な仕事は、樹木の剪定作業です。仕事柄脚立を扱う作業が多く危険を伴います。最初にヘルメット着用は必ず行って、作業前の足場はしっかり固定が出来ているか?脚立じたいに異常がないかを確認し、また作業中は未使用の道具は安全な場所に保管しています。道具に関しては、作業終了後必ず手入れをしています。日頃から常に身の周りの状況を把握し、安全・安心な作業が出来るように心がけています。



8/20 草刈作業



9/24 剪定作業

● インフルエンザに注意、併せてコロナ予防も!



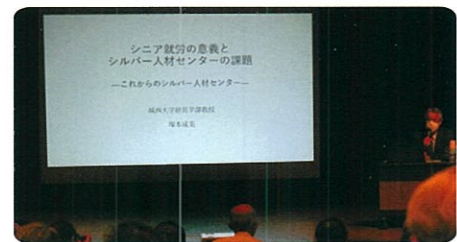
大橋 保治さん

今年はインフルエンザが大流行すると注意喚起がなされています。季節的にはインフルエンザ予防注射の時期です。昨年はコロナ予防でインフルエンザ患者が急減しており、その免疫力が無くなって感染がしやすく、患者が多くなると予想されています。コロナ感染防止の面から心配なところもありますが予防注射以外、インフルエンザ予防は同じ方法です。次の対策を宜しくお願い致します。

- 出来ればインフルエンザ予防注射をする
- 外出時はマスクの着用を徹底する
- 3密を避ける(密閉、密集、密接)
- 外出から帰ったらうがい、手洗い励行
- 休養とバランスの良い食事を取る

● 茨城県SC役職員研修に参加して

10月18日令和3年度県シ運役職員研修会が水戸市で県内42センターから100名(当センターから江連理事長はじめ4名)が出席して開催されました。研修内容は、講演「これからのシルバー人材センターのあり方」(城西大学、塚本教授)とDVD放映「会員、就業の拡大の事例発表(草加市SC)」等ですが、その概要は、日本の高齢化率は28.8%(2020年)と世界一で年々増加をしている。シルバーの本質(生きがい)も「ボランティアとか社会活動」から「働く、すなわち有償での就労」に変わってきているが、その中で、センター事業は会員拡大や就業開拓活動は重要で必須であると強調して講演を終わりました。当センターも会員・役員・事務局が一丸となり今迄以上の活動が必要と痛感を致しました。(金内記)



● 事務局定例会に会員理事も出席

7月から始まった事務局定例会は、第1月曜日を定例として事務局全員が参加、事務局長、各担当者の報告、予定、事業の推進状況など、お互いに情報交換をしていますが、10月より会員理事(2名)が加わる事になり最新の情報・問題点等を共有して、関連部門などで対応に当たることになりました。



● 枝、葉のチップ、畑や家庭菜園の土づくりにご利用を!

剪定や伐採作業で発生した木々の枝・葉などはセンターの破砕場に集められて、破砕機で細かくされて家庭菜園や畑で利用されていますが、今年は発生量が多くチップ置き場はいっぱいです。会員の皆さん畑や家庭菜園などの土づくりにご利用ください。引き取りは現地でチップは無償です。問い合わせ《事務局》山口まで



事務局だより

- ◆ 令和3年度 配分金支払証明書は 令和4年1月中旬に発行予定です。(確定申告の際に必要となりますので、大切に保管してください。)
- ◆ 2022年「会員手帳」を希望される方は 事務局までお願いします。(先着150名までとなりますので、ご了承ください。)



編集後記

コロナ禍で家に籠りがちの自粛生活から、コロナ感染の減少でようやく普通の生活スタイルを取り戻したこの頃です。会員の皆さんは運動不足等による体調の変化などはございませんか?コロナ感染はいつ再発をするか油断はできません。引き続き感染防止への取り組みをお願い致します。センター事業も皆さんのご協力でコロナ禍の中、順調に推移しています。ここに会報48号をお届けいたします。(会報グループ 吉田記)